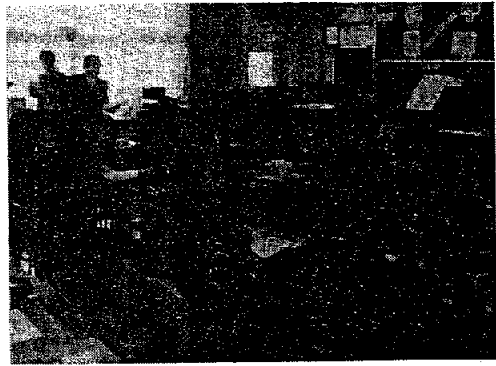


に耳を傾け、魔王を探すことに一生懸命だった。

- ②学習カードは、魔王がどれかを探すために、それぞれの登場人物から自分が受けた印象をメモ程度に書けるスペースと、自分が魔王を特定した理由を書くスペースとを分けた。音楽が流れている間は、できるだけ楽曲に集中して聴いてもらおうと、言葉での説明や楽譜を見ながら聴くことを避け、役の移り変わりがわかるようにスケッチブックに登場する順番にA B C Dを書いて音楽に合わせながら示した。生徒はスケッチブックを見ながら楽曲に耳を傾け、魔王を探す手がかりとしていた。



- ③意見を交換する場面では、「魔王を探せ!!」というシンプルな学習課題だったため、どの生徒にも



わかりやすく、話し合いにはどの生徒も積極的に参加できていた。またそれぞれのグループで、どれが魔王かを特定しないということになっていたのも、自分が感じたことを自由に話せていたように思う。友だちの意見を聴きながら、同調したり、批判したり、自分の考えを見直したりしている様子が見られた。

(2) この事例から明らかになったこと

- ・聴かせる観点を絞り込むと、生徒たちはその観点に注意して音楽に耳を傾けることができる。今回は「魔王」に注目したことが、他の役の旋律と比較しながら聴くことにもつながっていった。
- ・鑑賞の学習カードは授業の展開に即して使えるカードが有効であり、書く活動があまり多くなりすぎないように授業を組み立てる必要がある。
- ・グループでの話し合いは、結論を出すために話し合いをするのではなく、感じたことを自由に話し合い、友だちとの意見交換を目的とした活動にするのが良い。生徒たちは、自分の意見を述べることや友だちの意見を聞くことで学びを深めている。

4 来年度への課題

- ・楽曲により、取り上げる音楽要素は変わってくるが、どの音楽要素と結びつけて聴かせるかを明確にして、音楽要素と結びつけた学びができる場面を設定すること。
- ・1時間の中で何度も楽曲を聴かせることが重要であるが、楽曲を聴き深めるために繰り返して聴く場合には、聴く根拠を明らかにして、子どもたちに繰り返し聴く意味がわかるようにしてから聴かせる必要があること。
- ・これからの鑑賞の授業では、生徒たちに意見を記述させるときに、音楽要素と結びつけて書かせることが不可欠になってくるので、日頃から音楽要素と結びつけた具体的な記述をする経験を積み重ねていくこと。